

令和4年度 境港市市民活動 推進補助金事業 実績報告集



境港市総務部総合政策課政策企画係

令和4年度市民活動推進補助金採択団体一覧



	事業名	団体名	総事業費	補助対象額	交付決定額	交付確定額	区分	回数
1	境港玄孫プロジェクト	境港玄孫プロジェクト	222,000	220,000	100,000	100,000	新規	1回目
2	市民による開館記念コンサート	市民による開館記念コンサート実行委員会	730,000	730,000	300,000	300,000	一般	1回目
3	第8回平和のための戦争展	平和のための戦争展境港市実行委員会	195,440	189,440	94,000	81,000	継続	7回目
4	市内の水辺における安全活動	境港サーフレスキューチーム	99,620	99,620	49,000	33,000	継続	4回目
5	子育て世代の親と子の地域の居場所づくり	子どもの応援隊おいでおいで	349,550	349,550	201,000	136,000	一般	1回目
6	草刈り来たろう隊推進事業	さかいみなと銀座市場	464,475	464,475	300,000	300,000	一般	1回目
7	花いっぱいふれあい事業	鳥取県立境港総合技術高等学校ボランティア同好会	90,000	90,000	60,000	60,000	緑化	16回目
8	竹内西緑地への桜苗の植栽及び管理	竹内マツ植樹隊	1,072,000	211,200	60,000	60,000	緑化	10回目
9	しらおの森は花いっぱい	境港市立外江小学校PTA	90,000	90,000	60,000	60,000	緑化	17回目
10	花いっぱい ふれあい運動	上道小学校PTA	90,000	90,000	60,000	60,000	緑化	17回目
11	花いっぱい運動	境港市立余子小学校保護者と先生の会	75,624	75,624	60,000	60,000	緑化	11回目
合計			3,478,709	2,609,909	1,344,000	1,250,000		

※総事業費・補助対象額は実績を記載。その実績により交付確定額を算出

交付決定額は申請時の補助対象額から算出


区分	件数	補助金額
新規	1件	100,000
一般	5件	850,000
緑化	5件	300,000
合計	11件	1,250,000

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	境港玄孫プロジェクト			
事業主体	境港玄孫プロジェクト			
補助区分	新規事業	団体補助回数（通算）		1回目
補助金額	100,000円	総事業費	222,000円	補助対象額 220,000円
事業内容	<p>【事業内容】 境港玄孫プロジェクトは、小中高一体型の民営クラブのため、児童・生徒・保護者にクラブ加入の啓蒙活動が必要とされる。また、民間による会費・寄付等の支援性の高い資金提供で事業を運営するため、支援を求める情報提供を行うためにwebサイトの構築を行った。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年12月28日（水）～令和5年2月24日（金）</p> <p>【実施場所】 オンライン</p> <p>【参加人数】 会員：10名、一般の参加者：市民・一般向けにwebサイトを作成</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた。
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ。
事業目的を達成できたか	境港玄孫プロジェクトの活動の本格化はR5年度からであるが、本事業（web制作）はクラブメンバーの募集とクラブに対する地域や支援団体の理解・浸透には必須なものであり、今後、重要度が増すメディアを制作できたことで達成できたと思われる。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	今年度においては、本事業（web制作）で理解・支援が広がったわけではないが、PTAの講演への協賛・境高校探究学習への伴走・イベント参加・SNSの活用で、かなりの理解・支援は広がった。
事業運営の自立に向けた方針	R5年から、拠点（Yashago Base）もオープンし、本格的なクラブ活動を開始する。懸念であった募集人数も、すでに、本格的な募集前から打診を受けるなど手応えを感じている。また、その活動を支える資金面での支援者・支援企業などの募集を本webサイトの活用や営業活動により獲得を目指していく方針である。
今後の課題	資金面での安定化が課題であるが、単なる寄付だけでなく、NPO法人化による様々な助成・補助事業など、他地域における他団体の活動を参考にしながらファンドレイジングをスムーズに離陸させること。
補助制度についての意見	本補助事業に限った話ではないが、DX化を進めると思う。WEBでの申請受付・審査の円滑化・報告方法等DXによる改善は行政側の業務負担の軽減や効率化からしても検討すべきと思われる。

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	市民による開館記念コンサート			
事業主体	市民による開館記念コンサート実行委員会			
補助区分	一般事業	団体補助回数（通算）		1回目
補助金額	300,000円	総事業費	730,000円	補助対象額 730,000円
事業内容	<p>【事業内容】 地元在住の演奏家・団体による演奏を開催。複合施設の特徴を活かし、1階図書館にて関連図書の展示を実施した。プログラムに市内事業所の広告を掲載し、物販の協力を行った。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年10月16日（日）</p> <p>【実施場所】 境港市民交流センター みなとテラス</p> <p>【参加人数】 会員：225名、一般の参加者：688名</p>			
				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた。
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった。様々なスタッフ（司会、駐車場係員等）を出演者で賄おうとしていたが、実際のところ出演者がすべての役員に就くことが困難であったため、委託に出し計画外の経費が発生した。
事業目的を達成できたか	中海テレビ放送やNHKふるさと伝言板、商工会議所ニュースや日本海新聞文化欄への掲載、また広報活動を行い来場者688名と大盛況の結果であった。普段、あまり生の演奏を聞く機会の少ない市民に、音楽という豊かな文化に触れてもらい、この新たな施設の環境の素晴らしさ、奥深さを堪能する機会となった。アンケートを実施したが、今後の市民と共に発展していく本市の文化の殿堂となりゆくことを来場者の感想からそのことを読み取ることができる。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	市内で活動する音楽の関係団体もこのホールでの発表により広く市民に親んでもらい、今後さらに音楽を通して市民活動、交流の輪が広がることへの期待が持てた。運営面に於いても各団体と協力し実施できた。また、複合施設の特性を生かし、図書館等と連携した関連図書の展示を行い音楽への深い理解へと繋がった。
事業運営の自立に向けた方針	実行委員会の実施。各団体と情報交換や連絡等を綿密に協力しながら行い進めた。
今後の課題	実行委員会の高齢化、運営面での不慣れ等もあり準備に想像以上の時間を要した。アンケートからも継続して実施してほしいとの声がたくさん見られるので、形は工夫しながらも継続して実施を行いたい。
補助制度についての意見	新規事業にて運営資金のない中、補助金を使用することにより開催が実現したことに心から感謝をしている。 この補助制度がなければ実施は実現可能ではなかった。

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	第8回平和のための戦争展			
事業主体	平和のための戦争展境港市実行委員会			
補助区分	一般事業	団体補助回数（通算）		7回目
補助金額	81,000円	総事業費	195,440円	補助対象額 189,440円
事業内容	<p>【事業内容】 しおさい会館にて、戦争遺品・写真等の展示、「ウクライナ戦争と日本の進むべき平和の大道」と題して三宅孝之氏の講演会、戦争体験者による語る会を開催した。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年10月29日（土）・30日（日）</p> <p>【実施場所】 境港市しおさい会館</p> <p>【参加人数】 会員：87名、一般の参加者：91名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			




自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた。
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった。宣伝経費の削減、展示経費についても縮小に努めた。
事業目的を達成できたか	平和であることの大切さを今ほど実感できた時はなかったのではないのでしょうか。アンケートからも多くの声が寄せられたことでその目的が達成できたと思います。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	今回も小学校に平和学習の研究作品を展示協力してもらうことが出来て、市民からの良い評価を頂いた。感想などでも継続を期待する意見を頂いており、平和を願う主旨を理解してもらい支援も広がっていると評価している。
事業運営の自立に向けた方針	補助金以外の財源は各団体の分担金による運営を行っているので行事を行うことは財政的にも大変です。
今後の課題	市民のみなさんに今後とも継続して平和の大切さを考えてもらえるよう、そして参加の輪が少しでも大きく広がるよう努力していきたい。
補助制度についての意見	いろいろな市民活動が行われているなか財政的にも弱小な団体もあります。少しでも補助をしていただける制度というものは平和を伝承していくことにとって大変ありがたく貴重なものと考えています。

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	市内の水辺における安全活動			
事業主体	境港サーフレスキューチーム			
補助区分	一般事業	団体補助回数（通算）		4回目
補助金額	33,000円	総事業費	99,620円	補助対象額 99,620円
事業内容	<p>【事業内容】 監視・救助活動及び海岸の清掃活動や、「浮いて待て」教室の実施により、地域住民（特に子どもたち）の水辺における安全意識を高めつつ、地元の海に親しむ意識を育んだ。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年7月～8月 ①監視活動（7回） ②浮いて待て教室（市内3校+航空自衛隊美保基地）</p> <p>【実施場所】 ①境港市佐斐神町 美保湾展望ビーチ ②中浜小学校、境小学校、渡小学校、航空自衛隊美保基地</p> <p>【参加人数】 ①会員：延べ8名、一般の参加者：延べ129名</p>			
				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた。
予算書と決算書の活動費の内訳	大幅に変更した。会員数の減少に伴い、ボランティア保険料及び講習の講師料が減額となった。また、会員が確保できず救助艇が配備できなかったため船舶保険、燃料費、事務費が減額となった。
事業目的を達成できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・海水浴シーズンの7日間、ビーチにおける監視活動を実施し、遊泳者の安全を確保することができた。 ・境港市内3小学校や、航空自衛隊美保基地職員に対し「浮いて待て」教室を実施し地域住民の水辺における安全意識を高めることができた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	1個人様より活動に対するご理解を頂き、協賛金による支援を頂いた。
事業運営の自立に向けた方針	今後も補助金や協賛金による支援を受け有効活用できるように活動していきたい。
今後の課題	レスキューボードやテントなど大型の機材を監視活動毎にビーチに搬入する作業に手間と労力がかかるため、海水浴シーズン中ビーチ周辺に機材置き場を整備頂くと大変助かります。
補助制度についての意見	ボランティア活動を行うにあたり、大変有効な制度である。

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	子育て世代の親と子の地域の居場所づくり				
事業主体	子どもの応援隊おいておいて				
補助区分	一般事業		団体補助回数（通算）		1回目
補助金額	136,000円	総事業費	349,550円	補助対象額	349,550円
事業内容	<p>【事業内容】 子ども達の健全な育成と子育て応援、交流を目的とした子どもの居場所づくりを行い、子育てに不安を持つ親への支援、食事を提供することで、地域の方々との交流を図った。①ふれあい食堂では、幼児・小学生とその家族・地域の年配の方々にお弁当を配布し、チラシやホームページで周知した。②ふれあい広場では、13時～18時まで小学生を対象に茶道・育脳ゲームを行った。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年8月～令和5年3月 ①ふれあい食堂 月1回（第3土曜日） ②ふれあい広場 毎週水曜日</p> <p>【実施場所】 幸神町会館</p> <p>【参加人数】 会員：10名、一般の参加者：60名/1回</p>				
					

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた。
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった。お米は、知人からいただいたので出費はなかった。その費用をクリスマス会の費用に充てることができた。7月にプレゼンしたライオンズクラブからの寄付金がもたらえた。
事業目的を達成できたか	コロナ禍で子ども食堂が弁当配布となり、子どもとの交流機会が少なくなったため、子どもの居場所づくりで地域の方と触れ合う場所を設け交流ができるようになった。また子ども同士の繋がりもできた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	日本海新聞などのメディアでの紹介、境港美保ライオンズクラブからの寄付金や慰問（サンタさんでの訪問）などがあった。地域の方々との交流が増えて沢山の方がふれあい広場に参加してくれた。
事業運営の自立に向けた方針	法人団体へ向けての組織づくり。 新たに子ども食堂を立ち上げたい若い人が、参加してくれるようになり賃金をもらえらるともっと意欲的になれ、これから先への継続に繋がると思える。
今後の課題	法人団体へ向けての組織づくり。人材の確保。 調理スタッフの交代が出てきているので、長く楽しく働くことが出来るようにまた、無理のない手伝いができるようにしていきたい。
補助制度についての意見	子ども食堂について、市役所、市民のみなさんのご理解に感謝いたします。

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	草刈り来たろう隊推進事業				
事業主体	さかいみなと銀座市場				
補助区分	一般事業	団体補助回数（通算）		1回目	
補助金額	300,000円	総事業費	464,475円	補助対象額	464,475円
事業内容	<p>【事業内容】 市内幹線道路歩道等の草刈り清掃を行うことにより、住民参加のまちづくりの実践をめざした。ボランティアを集い、月1回第4土曜日早朝に、主に臨港道沿いの草刈りを行った。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年4月～11月（毎月1回）</p> <p>【実施場所】 台場臨港道路沿い、JR境港駅前、清水港臨港道路沿い</p> <p>【参加人数】 会員：30名、一般の参加者：延べ97名</p>				
					

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた。
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ。
事業目的を達成できたか	刈り払い機の導入により、作業能率が格段に上がった。今までの2倍を超える作業効果がある。効率が良くなったことで参加者の喜ぶ声が聞こえた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	作業中にのぼりを立てたことにより、市民への認知が広がったと思う。通りかかった市民から声を掛けられ、月一の草刈り作業をボランティアで行っていることを伝え、大変喜んで頂き労いの言葉をかけて頂いた。
事業運営の自立に向けた方針	今後は、機動力が増したことで、市内全域を念頭に活動範囲を広げていきたい。
今後の課題	参加者の人数を増やす方法を模索すること。この活動を継続する為にも境港市市民活動推進補助金を活用させていただき、この活動が市民活動に広がっていくことを目指したい。
補助制度についての意見	大変良い制度だと思っています。この制度により可能性が広がります。

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	花いっぱいふれあい事業			
事業主体	鳥取県立境港総合技術高等学校ボランティア同好会			
補助区分	緑化事業	団体補助回数（通算）		17回目
補助金額	60,000円	総事業費	90,000円	補助対象額 90,000円
事業内容	<p>【事業内容】 年間を通じて、学校周辺の緑化活動を実施し、地域との交流を図った。「はるかひまわり絆プロジェクト」では、校内、市内保育園などで植栽したり、収穫した種を余子小学校、総合技術フェアなどで配布した。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年5月～令和5年3月</p> <p>【実施場所】 校内、余子公民館、市内高齢者施設、保育園</p> <p>【参加人数】 福祉科1年～3年72名</p>			
				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた。
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ。
事業目的を達成できたか	福祉科1年生から3年生の全学年が活動に参加し、目的は概ね達成できた。交流の対象となる幼児や高齢者施設等がコロナ禍での制限が続いていることや会員数の減少、生徒の課外活動への意識の変化等から日程や活動形態を工夫しなければいけない場面が多く、実活動時間や活動範囲を拡げることは難しかった。地道に校内での活動を行い、実習等でお世話になっている地域の高齢者施設等で継続的に活動できたことが成果である。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	今年度もコロナ禍が続き、交流等の活動に制限がかかる一年だったが、地域指導者、公民館、社会福祉協議会、高齢者施設などの理解協力を得て、活動を続けることができた。地域の高齢者施設での花植え交流では利用者の方が大変喜ばれた。生徒の継続的な活動の場にもなっており、事業への理解・支援が地域に広がっている。事業実施の際には校内のInstagram等を活用して情報発信を行うこともできた。
事業運営の自立に向けた方針	資金面においてはボランティア同好会活動費等で可能な限り活動を継続したい。活動当初の生徒の願いや花植えを通して「福祉のまちづくり」を行う視点を風化させないために社会情勢や生徒実態に応じた効果的な活動のあり方を考えていきたい。
今後の課題	福祉科入学生（会員数）の減少や続くコロナ禍で、ボランティアや地域活動を経験していない生徒が増えてきており、生徒自らが計画し、一定の成果に向かって継続的に活動に取り組むことが非常に難しくなっている。福祉科内の活動にとどまらず、可能な限り地域の協力を仰いだり、他科や生徒会、PTA等と連携しながら、全校生徒がかかわる活動へと発展させる方策を考えたい。
補助制度についての意見	来年度も継続していただきたい。

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	竹内西緑地への桜苗の植栽及び管理			
事業主体	竹内マツ植樹隊			
補助区分	緑化事業	団体補助回数（通算）		11回目
補助金額	60,000円	総事業費	1,072,000円	補助対象額 211,200円
事業内容	<p>【事業内容】 竹内西緑地の松林復元を目的とし、荒廃地の開墾・整地・整備や松苗の植栽・保全を行い、地域の緑化の推進及び景観保全に寄与する。また、桜苗を植樹して、緑地中央の通路を整備し、人々が集える広場を創る。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年5月21日～令和5年3月8日</p> <p>【実施場所】 竹内西緑地の一部</p> <p>【参加人数】 延べ364名（活動日数37日） 会員30名、一般の参加者50名（11月6日植樹祭）</p>			
				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた。
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった。収入の部は、計画通り助成金等が受けられた。支出の部、計画していた桜の苗木他は27本211,200円であったが、実際購入したものは、桜20本とマツの苗木200本の168,850円であった。
事業目的を達成できたか	桜の植樹は、27本予定していたが、植樹予定場所の整地が間にあわず、植樹場所を変えて本数を20本に減じた。また、マツの苗木で枯れたものが有ったので200本の補植をした。敷地全般の除草とマツの枝降ろしは概ねできた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	令和2年度（第8期整備事業）で会の発足当初目標にしていた57,000㎡の開墾整備とマツの苗木の植樹が完了した。今期は、新聞折り込みやホームページに記載し公報に努めた。徐々に社会で認知され始めていると感じている。
事業運営の自立に向けた方針	次年度（令和5年：第11期整備事業）は、自走式草刈機も入り、マツの植樹も完了したので、大きな出費はないが、桜の苗木の購入・植え込みと土壌改良と排水計画の予算が必要で、もう少し自立は先延ばしになりそうである。
今後の課題	この松林も概ね整備が出来たが、市民が憩える場所としての整備が必要である。今後の課題は、桜並木を整備する為の、排水の整備と桜を育ちやすくするための土壌改良工事が必要。（昨年同様）
補助制度についての意見	書類は出来る限りの簡素化、対象事業の補助率を100%、支払いを事業着手時に行い、完了後精算とする。ボランティア団体が使い易い制度にしてほしい。

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	しらおの森は花いっぱい			
事業主体	境港市立外江小学校PTA			
補助区分	緑化事業	団体補助回数（通算）		19回目
補助金額	60,000円	総事業費	90,000円	補助対象額 90,000円
事業内容	<p>【事業内容】 「しらおの森」を中心に学校全体をより良い憩いの場とするため、地域ボランティアとともに四季折々の草花を育てた。育てた花は地域にプレゼントし、美化活動に対する意識を高めた。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年5月13日～令和5年3月15日</p> <p>【実施場所】 「しらおの森」及び校内</p> <p>【参加人数】 会員：181名、一般の参加者：児童226名・ボランティア6名</p>			
				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた。
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ。
事業目的を達成できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に植物を育てることを通して、いのちの大切さを感じ、育てる楽しさや優しい心を育むことにつなげることができた。 ・活動する中で、身の周りの植物や地域の美化活動への関心を高めることができた。 ・地域や保護者の方に参加していただき、一緒に活動する中で自然豊かな本校や外江の町に誇りや愛着を改めて感じる事ができた。 ・コミュニティ・スクールとしての機能を活用し、保護者・地域の方よりボランティアを募集し、ともに活動を進めていくことで地域と共にある学校の実現に向けての理解と協力を得ることができた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	年間を通して、本事業に関する花ボランティアの皆様や児童の活動は、学校ホームページや学校便りなどで随時アピールしている。また、校区内の各事業所へ花を届けることで、本事業をアピールした。
事業運営の自立に向けた方針	本校児童が普段からお世話になる施設に、季節ごとに花を配ることを通して、花いっぱい運動が、コミュニティ・スクールとして学校と家庭と地域をつなぐより主体的な活動になるように取り組んだ。
今後の課題	花ボランティアとして参加希望を示してくださる方が増えているが、コロナ禍において状況に応じた本事業への取り組みが求められる。また、状況を考慮しながらより多くの保護者や地域の方へ本事業を拡大し、コミュニティ・スクールとして充実を図っていきたいと考える。
補助制度についての意見	本事業推進には大変資金がかかり、PTAの補助金だけでは不十分である。是非この事業への補助を継続してほしい。

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	花いっぱいふれあい運動			
事業主体	上道小学校PTA			
補助区分	緑化事業	団体補助回数（通算）		19回目
補助金額	60,000円	総事業費	90,000円	補助対象額 90,000円
事業内容	<p>【事業内容】 植物を育てることの楽しさや喜びを味わい、花づくりを通して地域の美化活動への関心を高め、自分たちの町に愛着を持つやさしい心を育む。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年5月13日～令和5年3月7日</p> <p>【実施場所】 上道小学校とその周辺</p> <p>【参加人数】 会員：児童・職員278名、一般の参加者：地域の方6名・保護者9名</p>			
				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた。
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった。花苗の植え替え作業時に必要な移植ゴテが古く、使いづらいため新しく購入した。また、運搬作業用に軽いアルミ製の一輪車も購入した。今年は鳥による被害が多く、咲いた花をえさにして食べてしまう鳥から花を守るための対策として鳥よけや竹串などを購入した。
事業目的を達成できたか	本事業の主となる活動は、保護者と地域の高齢者を巻き込んでの花の苗の植え替え作業(11月)である。その花を飾る舞台は卒業式と入学式に設定している。また入学式後に、保護者や地域の方々への啓発を兼ねて花の鉢の持ち帰りを行うところまでが事業である。鳥の被害も多かったが、何とか対策をして花の苗として鑑賞できるまで育てることができた。最終目的までは、まだ到達していないが、花の栽培は継続中で生育も良好なので、このまま事業の目的を果たせるものと期待している。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	本事業の予算を使って、継続的に玄関前や道路脇、中庭の植物の維持管理も行っている。学校公開日等での意見でも、玄関の花壇が美しいとの評価をいただいている。11月のPTA主催による植え替え作業に参加して下さる保護者の方は昨年よりも多かった。市の助成金を受けていることを、花の持ち帰りを依頼する文章の中で伝えることができた。
事業運営の自立に向けた方針	学校という公の施設での緑化活動であるので、今後も継続的に助成をお願いしたいが、難しい場合でもPTA予算でやりくりし、同程度の緑化事業は維持していきたいと考えている。
今後の課題	花の栽培を見童が行っている。コミュニティ・スクールとして、地域や保護者の方々に花の育成や世話をさせていただいたりすることも今後考えていきたい。
補助制度についての意見	補助制度を活用していることを広く知らせるため、学校では保護者に文章等で活動を知らせることを考えている。公民館等を通して、地域の方にも広く知らせることができないか考えているところである。

令和4年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	花いっぱい運動			
事業主体	境港市立余子小学校保護者と先生の会			
補助区分	緑化事業	団体補助回数（通算）		7回目
補助金額	60,000円	総事業費	75,624円	補助対象額 75,624円
事業内容	<p>【事業内容】 卒業式や入学式に向けて花を育て、多様な人とのかかわり合いを深める。栽培活動を通じて、植物をはじめとする小さな命を慈しむ優しい心を育てる。美化活動への関心を高め、地域美化への意識と意欲を持たせる。</p> <p>【開催（実施日）】 令和4年5月13日～令和5年3月14日</p> <p>【実施場所】 学校中庭・前庭</p> <p>【参加人数】 会員：214名、一般の参加者：25名</p>			
				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた。
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ。
事業目的を達成できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に来ていただき、学校とのつながりが深まった。 ・学校が花でいっぱいになり、華やかな雰囲気を作ることができた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	保護者の方や地域の方々に参加していただき、一緒に花を植える意義を感じていただいた。また、育てた花を贈呈することで、感謝の言葉を沢山いただいた。
事業運営の自立に向けた方針	PTA会員の人数が減少傾向にある。地域の方へ、参加の呼びかけを大事にしていきたい。
今後の課題	児童の考えや想いが、事業の中に反映された取組になっていくこと。
補助制度についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校を結びつける機会をいただいている。 ・コミュニティスクールを推進する上で、ありがたい制度である。